

(1) □三十□□□徳治×

(124)×33×5 081

木 簡 研 究 第一〇号

和田 萃

卷頭言—機器の目・人の目—
一九九七年出土の木簡

概要 平城宮跡 平城京跡(1) 平城京跡(2) 青野遺跡 藤原宮跡 酒

船石遺跡 長岡宮跡 長岡京跡左京二条四坊三町 長岡京跡右京六

条二坊六町 平安京跡右京三条一坊三町 平等院庭園 細工谷遺跡

大坂城跡 天満本願寺跡 堺環濠都市遺跡 東浅香山遺跡 猪名庄遺

跡 屋敷町遺跡 加都遺跡 明石城武家屋敷跡 境谷遺跡 茂利宮の

西遺跡 安坂・城の堀遺跡 大將軍遺跡 大脇城跡 濱名川遺跡 明

治大学記念館前遺跡 千駄ヶ谷五丁目遺跡 山崎上ノ南遺跡B地点

西原遺跡 松本城三の丸跡小柳町 松本城下町跡伊勢町 三輪田遺跡

一本柳遺跡 志羅山遺跡 三条遺跡 上高田遺跡 山田遺跡 払田柵

跡 大光寺新城跡遺跡 福井城跡 金石本町遺跡 戸水大西遺跡 堅

田B遺跡 七尾城下町遺跡 蛇喰A遺跡 二口五反田遺跡 清水堂F

遺跡 下ノ西遺跡 中倉遺跡 大御堂廢寺 三田谷I遺跡 有福寺遺

跡 高田遺跡 百間川米田遺跡 津寺遺跡 末原窯跡群(灰原上層)

萩城跡(外堀地区) 高松城跡 觀音寺遺跡 上長野A遺跡 香椎B

遺跡 博多遺跡群 魚屋町遺跡

八木 充



福知山市教育委員会『福知山市文化財調査報告書』第三六集(一)
九九八年)

墨痕は比較的明瞭で、墨書は片面のみに見られる。上下両端部は欠損しているが、左右は原形を留めている。末尾の二字は年号「徳治」(一三〇六年～一三〇八年)とみられるが、下半が欠損しているため、年号以外の記述であることも十分考えられる。ただ、共伴して出土した土器類は、当地域では概ね一二世紀後半～一四世紀前半の時期に比定されるものである。

9 関係文献



釈文の訂正と追加(一) 山垣遺跡 桃狭遺跡(深田地区) 桃狭遺跡
入佐川遺跡 出雲国庁跡
再び長屋王家木簡と皇親家令について

長野特別研究集会の記録
信濃の古代と屋代遺跡群：寺内隆夫、七世紀の屋代木簡：傳田伊史、
七世紀の地方木簡：鐘江宏之、七世紀の宮都木簡：鶴見泰寿、律令制
の成立と木簡－七世紀の木簡をめぐつて：館野和己

書評 佐藤信著『日本古代の宮都と木簡』

新刊紹介 大庭脩編著『木簡－古代からのメッセージ』

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円

仁藤敦史
丸山裕美子